

日本芝に安心・安全

悩ましい使用場面で、安心して使用できる。

芝に対する影響が少ないハイメドウだから、
さまざまな場面でお役立てください。

フェアウェイ・ラフ



根、ランナーに影響が少ない。

ティーグラウンド



踏圧損傷の回復を阻害しません。

張り芝・グリーン廻り



芝の活着がスムーズとなります。
グリーンに直接散布しなければ、踏み
込みによる薬害はありません。

傷んだ芝地



乾燥害、病害虫で傷んだ
ターフにも使えます。

特長

- 日本芝に対して影響が少ない
根部への影響が少なく、張芝の活着やランナーの伸長を妨げません。
- 安定した効果
イネ科雑草(メヒシバ、スズメノカタビラ等)に優れた効果があります。
- 周辺への影響が少ない
土壌吸着性が強く、移動性は極少です。
- ハンドリング性の高い顆粒タイプ
顆粒水和剤なので希釈が容易です。



除草剤

日産 **ハイメドウ** 顆粒水和剤

芝生の根にやさしい
イネ科雑草防除剤

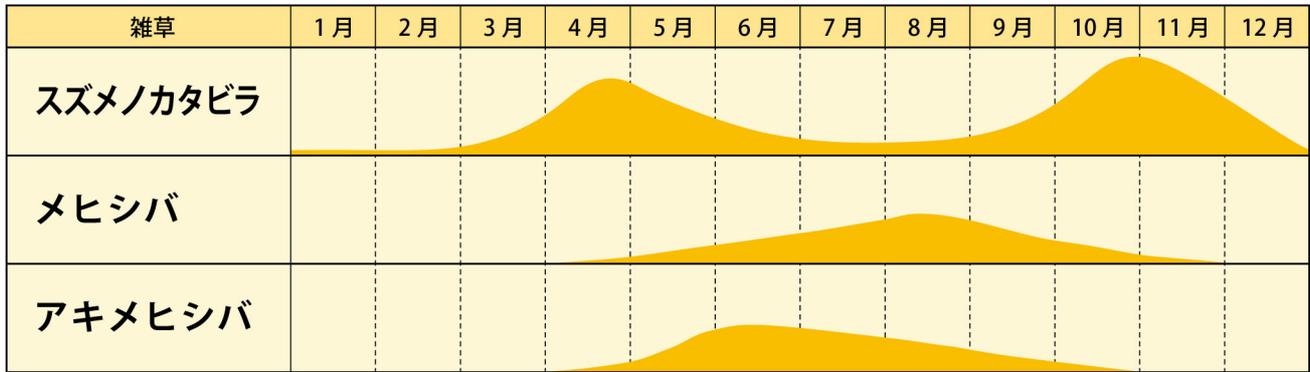
【有効成分】カフェンストール(化管法1種)…40% 【性状】淡褐色水和性細粒 【除草剤分類】15

■上手な使い方(処理時期)

- 本剤は雑草が発生する前に散布して下さい。
- 推奨処理薬量は0.4g/m²以上です。
- イネ科雑草の発生後の場合は、莖葉処理剤を混用散布して下さい。(処理適期幅の拡大が可能)

●イネ科雑草の発生前に処理しましょう。

図は関東地方の季節消長を示しています。



スズメノカタビラの発生最盛期は春と秋の2時期。暖地では1年中生育。

発生前に土壌処理
ハイメドウ顆粒水和剤

発生前に土壌処理
ハイメドウ顆粒水和剤

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	カフェンストールを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生イネ科雑草	芝生育期(雑草発生前)	0.3～0.5g/m ²	200～300ml/m ²	2回以内	全面土壌散布	2回以内

■農薬の使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 乾燥時は、水量を多めにして散布してください。
- 周辺の作物、草花、樹木にかからないよう注意して散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
 - 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
 - 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。